

令和6年度始良・伊佐地区研究協力校「道德教育」
始良市立加治木中学校道德教育研修会

1 研究主題

(1) 地区研究主題

「考え、議論する道德」に向けた授業の在り方

(2) 会場校研究テーマ

自他ともに尊重し、豊かな心を育む道德教育の在り方

2 研究発表

始良市立加治木中学校は、令和5年度から2年間にわたり、地区指定研究協力校として、研究・実践に取り組んできました。

研究発表では、主体的に考えを伝え合う活動の工夫として、発問や疑似体験的な学習、まとめシートを活用した取組、効果的なICTの活用について紹介されました。

また、全職員によるローテーションでの授業や家庭との連携についての取組も紹介されました。

3 公開授業

2年生と3年生の二学年で研究授業を行いました。

2年生では、大川畑未樹教諭が「注文をまちがえる料理店」という教材を用いて授業を行いました。「失敗を許すとはどういうことか」という学習問題を基に、自分の考えをもたせた後に、グループでの話し合い活動を通して、自分の考えを深めさせていました。また、この時間の学びをまとめシートに記入させ、自分の考えや気づきを振り返らせていました。

3年生では、谷山晴美教諭が「二通の手紙」という教材を用いて授業を行いました。

遵法精神、公德心について考えさせるために、登場人物の行動に対する自分の思いを「心の数直線」を活用して、ロイロノートに提出し、互いに共有する時間を設定していました

また、グループ討議で、登場人物の立場になって考えさせたいうえで、再度、自分だったらどのような行動をとるのかを「心の数直線」に表すとともに、自分の考えを広げたり、深めたりしていました。

さらに、まとめシートに本時の学習で考えたこと等をまとめさせて、規則について考えたことや、自分の考えの変遷を振り返らせていました。



【2年生の授業の様子】



【3年生の授業の様子】

4 分科会

分科会では、2年生と3年生に分かれ、授業研究・研究協議を行いました。

授業研究では、会場校研究テーマに沿って、「充実した対話活動を通して、生徒たちは自らの考えを深められているか。」という視点から、授業で見取った生徒の様子を基に意見交換を行いました。研究協議では、地区の研究主題である「『考え、議論する道徳』に向けた授業の在り方」をテーマに、各学校の取組や授業における工夫等について、グループで意見交換を行いました。



【グループ協議の様子】

授業研究・研究協議で出された意見の主な内容は、以下のとおりです。

【2年生分科会】

- 生徒が意見をもち、交流できていたのがよかった。司会カードなども話合いが円滑に進むのによい。意見をもつ際に理由まで考えることはどの教科でも意識してする必要がある。そうすることで、より議論の後に深まりが出るのではと思った。
- 資料から身近な話題へ授業が流れたが、身近な話題から入って資料に触れ、再度身近な話題に戻る形もある。その際は、資料の取扱を精選するところが出てくるかと思う。

【3年生分科会】

- 関係者の立場になって考える話合い活動の中で、役割の書かれたボードを使って視覚的に分かりやすくしていた点と、話合いの仕方を配布し、発表の順番や、「でも」「確かに」といってから意見を述べさせていた点が、話合いをただの発表の場にしていないことにつながり印象的だった。
- 生徒の皆さんと教師との、日頃の信頼関係が垣間見える1時間であった。道徳の授業におけるグループ議論の進め方など、これからも研究していきたい。また、司会カードやまとめカードの活用なども早速取り入れていきたい。

加治木中学校の特徴的な取組

- 1 学年部職員全員による道徳の授業への参加
(ローテーションで授業実施)
- 2 まとめシートの活用
→ これまでの道徳での学びや考えの振り返りにつなげる。
- 3 全職員参加による研究授業参観，授業研究の実施
→ 学年で指導案の検討，全職員で授業参観，授業研究
全校体制での研究につなげる。
- 4 話合い活動の充実と振り返り
→ 授業のコーディネート，自分と他者の考えや意見との比較による，
考えや意見の広がり，深まりにつなげる授業へ。